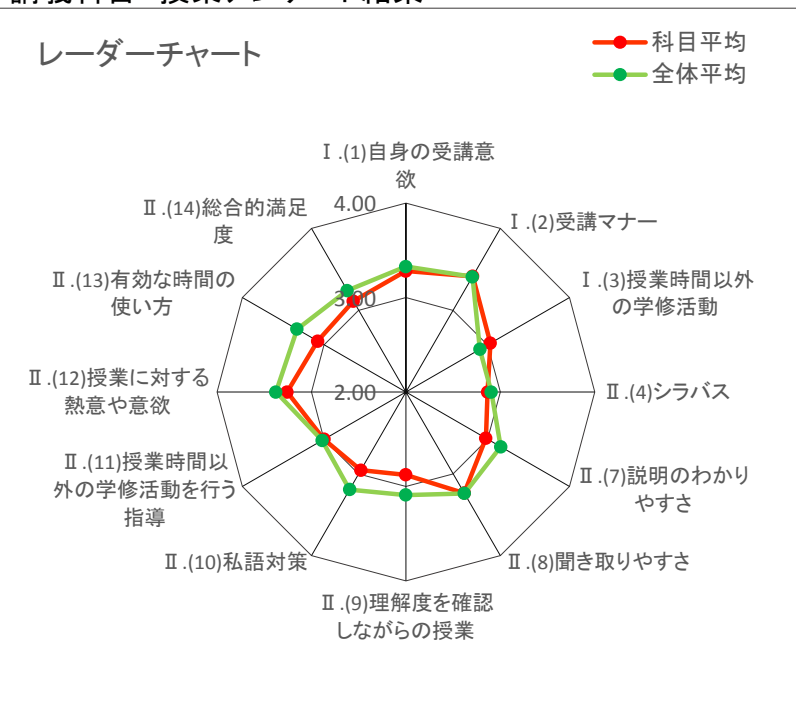
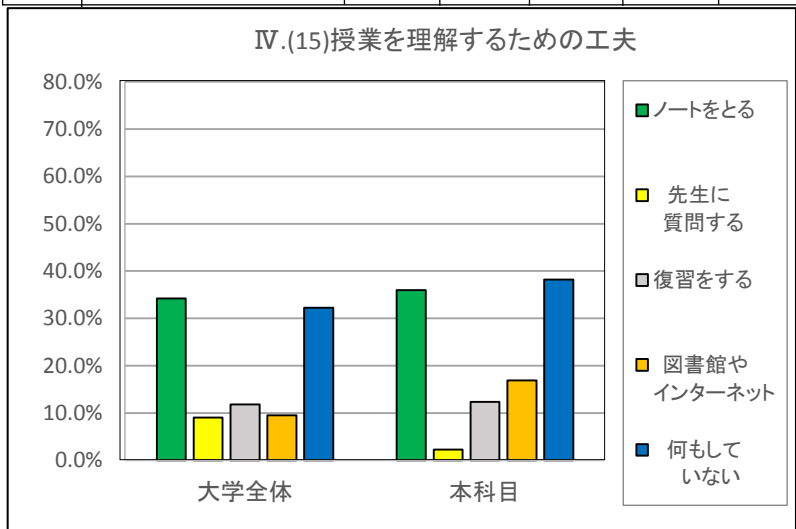


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	36.0%	2.2%	12.4%	16.9%	38.2%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.28	3.33
	I.(2)	3.42	3.41
	I.(3)	3.03	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.87	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.98	3.16
	II.(8)	3.24	3.24
	II.(9)	2.88	3.09
	II.(10)	2.96	3.19
	II.(11)	3.00	3.03
	II.(12)	3.26	3.38
	II.(13)	3.08	3.33
	満足度	II.(14)	3.11

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	15204
科目名	看護理論
教員名	

①授業計画の達成度について

・授業の目的を認識させた上で、授業計画に従って授業運営を行っているか。
授業計画に沿って授業を展開している。授業の目的についてはできるだけ、看護実践と関連させて伝えるようにした。(設問4)

・学習の到達目標、および難易度は適切だといえるか。(設問5、6)
学習の到達目標はほぼ達成したと考える。難易度については、学生にとって聞きなれない言葉があったと思うが、それを、グループで協力して理解が深まるようなグループワークの構成にした。

②授業の進め方について

声や言葉、説明は明瞭であるか。(設問7、8)

- ・明瞭であったと思われる。
- ・学生の理解を確かめながら、授業を進めているか。(設問9)
学生の理解度を確かめながら講義することは十分でなかった。今後は講義内容を厳選し、量的なことにとらわれず、学生の反応に留意しながら講義を進めていきたい。
- ・授業環境は守られているか。(設問10)
授業環境は特に問題がないと考えるが、私語などがあれば、その都度注意していくようにする。
- ・学生の授業満足度は高いといえるか。(設問11、12、13)
授業以外に文献を読まなければ、グループワークも進まないため、学生の努力が必要であった。そのことによって理論に対する理解が共有できたという満足感があったと考える。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

できるだけ、多くの理論家の理論を学ばせるための方策について、改善していく必要がある。例えば、課題をこなせる時間的余裕をもってグループ学習を進めていく。質問に関しては講義時間以外の時間にも随時受け付けることを学生に周知していく。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.24	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.03	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	3.11	3.24